

# りんご病(伝染性紅斑)

でんせんせいこうはん



## りんご病とは

ほっぺがりんごのように赤くなるので、りんご病とよばれています。太ももや腕には赤い斑点やまだら模様ができます。頬がほてったり少しかゆくなることもあります。熱はでません。ただし大人がかかると、微熱が出たり腰や膝が痛むことがあります。



## 治療

自然に治りますが、かゆみが強いときはかゆみ止めを処方します。



## 家庭で気をつけること

- ① 食べ物 : いつものとおりでかまいません。
- ② 入浴 : かまいません。ただし熱い風呂に長く入ると赤みが強くなって長びくことがあるので、短時間できり上げましょう。
- ③ 運動 : 運動で体が熱くなったり日光に長くあざると、長湯と同じように赤みが長びきます。



## こんなときはもう一度診察を

- ① かゆみが強くなったとき。
- ② 高い熱が出たとき。
- ③ 元気がなくなってきたとき。



## 保育所・学校

頬が赤くなったときは、すでにうつる時期をすぎているので、行ってもかまいません。しかし、あまり真っ赤な頬なら2~3日休むほうが無難でしょうね。



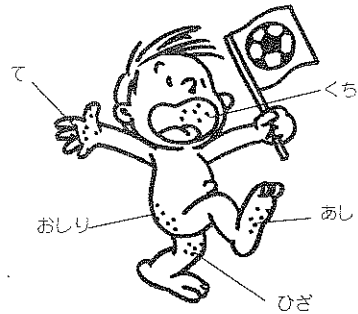
## 手足口病とは

その名のように、手のひら、足のうら、口の中に小さな水ぶくれができる病気です。おしりやひざにできることもあります。乳幼児の間で流行します。以前にかかったことのある子でもまたうつる場合があります。熱はないか、あっても微熱程度ですみます。手足の水ぶくれは痛みませんが、口の中が痛くて食べられなくなることがあります。



## 治療

治療をしなくても自然に治る場合がほとんどです。熱やのどの痛みがあるときはそのくすりを処方します。



## 家庭で気をつけること

- ① 食べ物 : 口の中が痛いときは、しみないものを与えましょう。熱いもの、塩味や酸味の強いもの、かたいものは控えます。
- ② 入浴 : 熱がなく元気ならかまいません。



## 保育所・学校

行ってよいかどうかは、症状次第です。主治医の指示に従いましょう。



## こんなときはもう一度診察を

- ① 口の中が痛くて水分をあまり飲まないとき。
- ② 高い熱が3日以上続くとき。
- ③ 吐いてぐったりしているとき。

